

## 第2章 被害の概要

### 第1節 人的被害

### 第2節 住家被害

### 第3節 公共施設被害

### 第4節 ライフラインの被害

### 第5節 公共交通機関の被害

### 第6節 その他の被害

### 第7節 地震被害の特色



輪島市門前町は家屋倒壊の被害が甚大だった＝3月26日、輪島市門前町走出の寺院



地震発生後、輪島市門前町館の穏やかな街並みは一転、無惨な姿に= 3月26日



作付けを控えた棚田では大規模な崩落が発生した= 4月4日、輪島市門前町小山



地盤の液状化により、岩盤とふ頭用地の間に段差が発生した七尾港大田地区（国土交通省北陸地方整備局提供）



集落に通じる道路に巨石が崩落し、孤立した輪島市門前町深見地区＝3月26日



観光名所の志賀町の関野鼻では、  
がけ崩れが施設まで迫った＝3月26日

能登有料道路は至るところで崩落し、能登  
の生命線は寸断された＝3月25日、七尾  
市中島町谷内



穴水町大町の倒壊家屋。  
穴水町は輪島市に次いで全壊棟数が  
多かった＝3月25日

平成 19 年 (2007 年) 能登半島地震の被害概要

区 分			被害など
人的被害	死 者		人 1
	行方不明者		人 0
	負傷者	重 傷	人 88
		軽 傷	人 250
住家被害	全 壊		棟 686
	半 壊		棟 1,740
	一部損壊		棟 26,956
	床上浸水		棟 0
	床下浸水		棟 0
非住家被害		棟 4,477	
その他被害	田	流失・埋没	ha 0
		冠 水	ha 0
	畑	流失・埋没	ha 0
		冠 水	ha 0
	学 校		箇所 55
	病 院		箇所 12
	道 路		箇所 698
	橋りょう		箇所 19
	河 川		箇所 151
	港 湾		箇所 28
	砂 防		箇所 33
	清掃施設		箇所 9
	崖くずれ		箇所 64
	鉄道 (のと鉄道など) 不通		箇所 3

(平成 21 年 3 月 3 日現在)

区 分			被害など
その他被害	空 港	箇所	1
	被害船舶	隻	0
	水 道	戸	13,290
	電 話	回線	260
	電 気	戸	110,000
火災発生	建 物	件	0
	危 険 物	件	0
	そ の 他	件	0
被害額	公共土木施設など	百万円	24,180
	農林水産施設	百万円	5,759
	上下水道施設	百万円	2,692
	社会福祉施設など	百万円	880
	学校施設	百万円	757
	その他公共施設など (能登空港など)	百万円	554
	計	百万円	34,822
石川県災害対策本部	設置年月日	平成 19 年 3 月 25 日	
	解散年月日	平成 20 年 6 月 6 日	
災害対策本部設置市町		3 市 4 町 (七尾市、輪島市、珠洲市、志賀町、中能登町、穴水町、能登町)	
災害救助法適用市町		3 市 4 町 (七尾市、輪島市、珠洲市、志賀町、中能登町、穴水町、能登町)	

注) 被害額については、公共事業費の災害査定などをもとに記載

## 第2章 被害の概要

### 第1節 人的被害

人的被害については、死者1人、重傷者88人、軽傷者250人の計339人となっている。被災場所別でみると、七尾市127人、輪島市116人、穴水町39人、志賀町37人、能登町12人、珠洲市、中能登町各3人、羽咋市、津幡町各1人となっている。



崩れた寺院＝3月26日、輪島市門前町走出

### 第2節 住家被害

住家被害は、全壊686棟、半壊1,740棟、一部損壊26,956棟の、合わせて29,382棟となっており、非住家被害4,477棟を合わせると、建物被害は合計33,859棟となっている。(平成21年3月3日現在)

住家被害の大きい市町としては、輪島市11,587棟、七尾市7,670棟、志賀町3,614棟、穴水町2,497棟などであり、住家被害の約4割が輪島市に集中している。全壊のみをみると輪島市513棟、穴水町79棟、七尾市69棟などとなっており、各市町の住家被害数と比較すると、全壊棟数が輪島市と穴水町で多くなっている。

死者、負傷者、住家、非住家被害の市町別一覧表

(平成21年3月3日現在)

市	町	人的被害(人)			住家被害(棟)			非住家被害(棟)
		死者	重傷者	軽傷者	全壊	半壊	一部損壊	
金	沢市							16
七	尾市		24	103	69	304	7,297	350
小	松市							2
輪	島市	1	46	69	513	1,086	9,988	2,899
珠	洲市			3			685	23
加	賀市						6	6
羽	咋市			1	3	13	142	29
か	ほく市				3	2	18	11
白	山市						1	7
能	美市							1
津	幡町			1			2	1
志	賀町		10	27	15	215	3,384	850
宝	達志水町					3	26	1
中	能登町		3		3	7	1,959	15
穴	水町		3	36	79	100	2,318	248
能	登町		2	10	1	10	1,130	18
合	計	1	88	250	686	1,740	26,956	4,477

### 第3節 公共施設被害

#### 1. 公共土木施設の被害状況

##### 1 概要

能登有料道路を含めた道路関係の被害箇所数は717カ所と全体箇所数940カ所の7割を超え、被害金額も道路関係で約193億円と公共土木施設被害全体の被害金額約242億円の約8割を占めている。

河川関係では、151カ所、約22億円、砂防施設は、33カ所、約23億円に上っている。

公共土木施設被害概要

区分	箇所数	被害金額(千円)
道路	717	19,347,137
県管理	273	6,124,834
市町管理	391	3,460,303
能登有料道路	53	9,762,000
河川	151	2,166,932
県管理河川	81	1,822,737
市町管理河川	70	344,195
砂防施設	33	2,265,439
港湾	28	271,072
その他	11	128,944
合計	940	24,179,524

主な道路被害箇所図



## 2 道路

### (1) 道路通行規制の状況

#### ① 北陸自動車道

地震発生直後の9時52分、上下線とも金沢西ICから富山IC間が通行止めとなった。中日本高速道路株式会社による巡視点検の結果、路面の被害などが無いことが確認されたことから、11時15分に通行止めは解除された。

#### ② 国管理道路

金沢河川国道事務所が実施した巡視点検の結果、一般国道470号(穴水道路、穴水IC～能登空港IC)を除いて被害の無いことが確認された。穴水道路では路面クラック(ひび割れ)の発生により、10時30分に通行止めとなったが、緊急復旧工事が行われ、26日6時30分に通行止めは解除された。

#### ③ 県管理道路

県管理の国道・県道では、14路線延べ30カ所において、落石、崩土、路面決壊などの理由により、通行止めを行った。緊急復旧工事を実施し、4月22日までには国道249号の輪島市町野町曾々木地内(八世乃洞門)を除き、全ての通行止めを解除した。



国道249号の八世乃洞門=4月5日

#### ④ 石川県道路公社管理道路(能登有料道路など)

地震発生直後の9時45分に「道路公社災害対策本部」を設置し、被災状況及び被災者の有無を確認するため、職員による緊急パトロールを実施した。その結果、道路決壊などの被害があった能登有料道路の柳田IC～穴水IC間(48.2km)と田鶴浜道路(4.8km)を25日11時10分までに通行止めとした。

迂回路を設置するなどの昼夜を問わない応急復旧工事を行った結果、大型連休前の4月27日までに全線が開通した。

### (2) 一般道路の被害

県が管理する国道や県道では、国道249号輪島市町野町曾々木地内など、56路線、273カ所において落石、崩土、路肩決壊などの被害が発生し、被害額は61億2483万円に上った。

市町の管理する市・町道でも、輪島市など8市町において合わせて391カ所で被害が発生し、被害額は34億6030万円となった。



土石でふさがれた輪島市里町の国道249号=3月25日

### (3) 能登有料道路・田鶴浜道路の被害

能登有料道路の柳田IC～穴水IC間(48.2km)と田鶴浜道路(4.8km)において、高盛土の大規模な崩落11カ所を含む53カ所(うち田鶴浜道路2カ所)で路面の段差・クラックなどの被害が発生し、被害額は97億6200万円に達した。

このような被害状況の中、別所岳サービスエリアでは、観光バス4台を含む137人が孤立するという事態が発生したが、警察・消防とともに救出作業を行い人的被害をゼロに防いだ。

#### 能登有料道路・田鶴浜道路 被害状況

被災状況	箇所数
大規模崩落	11
橋梁の損傷	6
路面の段差・クラックなど	37
合計	53

注) 大規模崩落と橋梁損傷が1カ所重複





能登有料道路が大きく崩れ落ち、別所岳サービスエリアに取り残された観光バス＝3月26日

### 3 河川・ダム

#### (1) 県管理河川

県の河川管理施設では、地震により、護岸の崩壊及び亀裂、堤防の決壊や亀裂、河岸や法面の崩落による河道閉塞などの被害が発生した。

被害箇所は、40河川81カ所に及び、被害額は18億2274万円となった。必要な箇所においては、二次災害防止を図るため、梅雨期までに応急対策工事を施工した。



護岸が崩れた輪島市門前町の二級河川八ヶ川(はっかがわ)＝3月26日



土砂でふさがれた輪島市熊野町の二級河川河原田川＝3月25日

#### (2) 市町管理河川

市町の管理する河川では、70カ所で被害が発生し、被害額は3億4420万円となった。

#### (3) 県管理ダム

県管理のダム(8カ所)では、地震発生直後、速やかにダム本体の緊急点検を実施し、異常がないことを確認した。その後の余震でもダム本体への被害はなかった。

### 4 砂防

#### (1) 被害状況

土砂崩れ、斜面崩壊など、64カ所の土砂災害が発生し、家屋被害が2件発生したが、人的被害はなかった。

土砂災害64カ所の内訳は、がけ崩れ57カ所、地すべり6カ所、土石流1カ所であり、がけ崩れが9割を占めた。

砂防・地すべり・急傾斜などの砂防施設では、急傾斜地崩壊対策施設の待受け擁壁工や法枠工の亀裂・破損が多く見られ、輪島市門前町鹿磯地区の急傾斜地施設など33カ所、22億6544万円の被害が発生した。



観光名所「鴨ヶ浦」の海岸の崖が崩れ、海岸道路は通行不能になった  
=3月26日、輪島市輪島崎町



集落に通じる道路に巨石が崩落し、輪島市門前町深見地区（左奥）を孤立させた=3月25日



漁船を使って避難する深見地区の住民=3月25日、輪島市の鹿磯漁港沖

## (2) 土砂災害による避難の状況

土砂災害により、9カ所で92世帯202人が自主避難や、避難勧告により避難した。

輪島市門前町深見地区では、避難路となる唯一の市道が大規模地すべりにより埋塞するとともに、迂回路である林道も路面の亀裂などにより車両通行が困難となり集落住民が孤立したが、住民は、船で自主避難した。

その後の点検で集落裏山の斜面に亀裂が発生していることが判明したため、集落の35世帯83人が仮設住宅に移った。

輪島市門前町鹿磯地区でも、集落裏の斜面に亀裂が発生するとともに、既設の斜面对策施設が被災したため、地区の11世帯20人が自主避難した。

輪島市門前町深見以外の地区では、応急対策工事や警報機などの設置による警戒避難体制を整備し、安全の確保を図ったため、避難は順次解消された。



深見地区で発生した斜面の亀裂。地区の全世帯が仮設住宅での生活を余儀なくされた  
=4月3日

## 5 港湾

能登地域の5港湾において28カ所、2億7107万円の被害が発生した。主な被害は護岸や岸壁などで、本体の傾斜、背後コンクリートの沈下・陥没などが見られた。また、臨港道路においても舗装に亀裂が発生した。

### 港湾の被害状況

港湾名			箇所数
七	尾	港	12
穴	水	港	6
小	木	港	1
輪	島	港	5
和	倉	港	4
合		計	28



段差が生じた岸壁＝3月27日、輪島港



傾斜が生じた海岸護岸＝3月27日、穴水港

## 6 公営住宅

公営住宅や特定公共賃貸住宅では、輪島市営住宅9団地、穴水町営住宅1団地が被害を受けた。

被害の内容は、屋根瓦の破損、外壁などのひび割れ、屋外配管及び舗装の損傷が主なものであったが、入居者への影響はほとんどなく、補修により復旧した。

## 2. 農林水産施設の被害状況

### 1 概要

農林水産施設の被害は981カ所、約58億円で、その内訳は農業関係約13億円、林業関係約11億円、水産業関係約35億円であった。中でも漁港・漁業用施設の被害額は、約32億円と全体の約6割を占め、特に被害が顕著であった。

また、市町別では輪島市約22億円(38.2%)に次いで、志賀町約15億円(26.0%)、七尾市約13億円(23.0%)と3市町で全体の約9割を占めた。

### 農林水産施設の被害概要

区分	被害箇所数	被害金額(千円)	主な被害内容
農業関係	658	1,206,061	
農地	75	79,046	畦畔崩壊など
ため池	48	323,500	堤体決壊、破損など
農道	49	179,735	路肩決壊、路面沈下、亀裂発生など
用排水施設など	65	232,590	頭首工、水路、揚水機破損など
農林海岸施設	12	86,210	堤防傾倒、亀裂発生、天端被覆工沈下など
地すべり防止施設	2	6,714	農地の亀裂発生など
その他施設	26	190,669	ライスセンター、農業倉庫、農作業場破損など
その他	381	107,597	農地等緊急手づくり復旧総合支援対策(復興基金)で対応した小規模な農地被害など
林業関係	128	1,089,643	
林道	115	691,255	路肩決壊、路面沈下、亀裂発生、法面崩壊など
山腹崩壊など	5	390,642	人家裏山崩壊、治山施設被災
その他施設	5	3,791	丸棒加工工場機械破損、貯木場舗装損傷など
その他	3	3,955	農地等緊急手づくり復旧総合支援対策(復興基金)で対応した炭窯被害など
水産関係	195	3,463,018	
漁港、漁業用施設	145	3,247,996	エプロン沈下、防波堤亀裂、護岸沈下、船揚場沈下など
漁港海岸施設	9	85,593	護岸エプロン沈下、波返し亀裂、消波ブロック沈下など
その他施設	41	129,429	製氷施設損壊、船舶給水施設破損、漁具倉庫破損など
合計	981	5,758,722	

注) その他施設には、農林漁業用共同利用施設等復旧支援対策(復興基金)で対応した被害(平成21年3月3日までに申請した額)を含む

### 2 農業関係

#### (1) 概要

被災した市町は9市町にわたり、658カ所、12億606万円の被害となった。

被害箇所数では輪島市が6割を占め、被害額では七尾市、輪島市、志賀町の順で大きく、この3市町で7割を占めた。

被害の内容としては、農地の亀裂、水田の法面崩壊、地すべり被害、ため池の亀裂のほか、農林海岸施設においては液状化による海岸堤防の天端被覆工下の噴砂や隆起・陥没、農道橋における橋面亀裂や橋取り付け部の被害などがあげられる。

6月11日には、輪島市・穴水町で震度4、七尾市で震度3の余震が発生し、ため池の被害箇所など、17カ所で被害が発生した。

### (2) 農地

被害箇所は震源地に近い輪島市で最も多く、震源から遠ざかるにつれ数は減少しているが、珠洲市から七尾市までの広範囲で被害が発生した。

被害の内容としては、畦畔崩壊、法面崩壊のほか、田畑に深い亀裂が発生した。

### (3) ため池

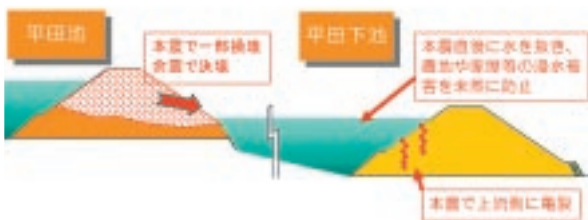
被害箇所は、農地被害以上に能登半島全域に広がっており、珠洲市の先端にまで及んだ。

発生した被害は、取水施設の損壊や、提体の崩壊、亀裂、パイピング(提体内部の水みち)などである。

このうち、志賀町笹波地内にある平田池では、本震により提体が一部損壊、さらに翌朝の余震により提体が30mにわたり決壊し、その結果、直下の平田下池に水が流出した。しかし、本震直後の地元管理者の適切な判断により、平田下池の水があらかじめ抜かれていたので、農地や家屋、公共施設に対する被害は未然に防止された。



堤体下流側の法面崩落及び決壊＝3月27日、志賀町笹波の平田下池



### (4) 農道・橋梁

被害箇所は、能登全域に及んでいた。被害状況の把握は、早期復旧に向けて緊急を要するものであるが、奥能登を中心とした中山間地域は土砂崩壊や地すべりによる道路の寸断、度重なる大きな余震により被害調査は困難なもので

あった。

調査の結果、中能登農道橋で路面亀裂や段差が発生しており、通行止めとなったほか、七尾西湾沿いなどの軟弱地盤上にある幹線農道で舗装の亀裂や地震の揺れによる局所的な隆起が見られた。



路面亀裂や段差が発生した中能登農道橋

### (5) 用排水施設

被害箇所は能登全域に及んでおり、北は珠洲市から、南は内灘町まで被害が発生した。

志賀町では、柵梁型水路が倒壊し、灌漑に支障をきたした。

羽咋市南潟町では、邑知潟左岸の堤防が約20cm南側に変位し、隣接する農業用水路の接続枡が破損した。また、揺れにより揚水機場上屋に亀裂が生じたり、負圧が生じ揚水機の配管がつぶれる被害が発生した。その他、頭首工の転倒堰の破損、頭首工側壁の崩壊による戸当りの破損などの被害も発生した。

### (6) 農林海岸施設・地すべり防止施設

被害の分布を見ると、七尾市と志賀町の海岸保全施設に被害が発生した一方で、震源により近い輪島市や穴水町では被害は発生しなかった。これは、震源地に近い輪島市(門前海岸)などでは基礎地盤が比較的強固であるためと推定される。

被害については、堤防に亀裂が生じた被害のほかに、堤防背後の天端被覆工下部の砂の液状化により、被覆コンクリートが沈下・隆起した被害が七尾市中島町外地区の海岸で多く確認された。また、志賀町の志加浦海岸では、護岸が海側にずれる被害があった。

地すべり指定地域内の被害箇所数は比較的少なかったが、輪島市稲舟地内においては、民家裏の急斜面上部の畑に亀裂が発生するなど人命

に危険が及ぶ恐れがある被害が確認された。



地すべりによる畑地被害＝3月、輪島市稲舟



林地崩壊の状況＝3月、輪島市門前町中野屋

### (7) その他施設

ライスセンターなどの営農施設や農業倉庫など26カ所で被害が発生した。このうち七尾市公設地方卸売市場では、敷地内舗装に亀裂や沈下が生じるとともに、水産棟増築部が一部破損し受水槽が漏水するなどの被害を受けた。

## 3 林業関係

### (1) 概要

被災した市町は6市町にわたり、128カ所、10億8964万円の被害となった。

特に輪島市が被害箇所数で約6割、被害額で約8割を占め、大きな被害を受けた。

被害は、激震部を中心に林道の路体決壊や人家裏などの林地崩壊が主であった。

### (2) 林道

県が管理する県有林道や市町管理の林道については、輪島市門前町の林道サビヤ山線をはじめ2市3町の40路線115カ所で被害が発生した。被害の多くは、地震の揺れによる路体の決壊・擁壁の前傾・路面クラックであった。

### (3) 山腹崩壊など

治山施設の被害としては、輪島市門前町浦上(尺ヶ池)地内など2カ所で、法枠工を含む山腹斜面の崩壊や土留工の倒壊などが発生した。

また、林地の崩壊は、輪島市門前町中野屋地内の濁池川右岸支流周辺で、幅約50m、斜面長約140mの規模での被害など3カ所で発生した。

### (4) その他施設など

#### ① 木材加工関連施設

丸棒加工施設の敷地に亀裂が入ったほか研磨機の転倒、破損など、木材加工施設等で5カ所の被害が発生した。

#### ② 木炭生産施設(炭窯)

県木竹炭生産組合員および個人の9基の窯が炭窯の天井の崩落や亀裂等の被害を受けた。

炭窯の被災した地域は輪島市、珠洲市、能登町の2市1町に及んだ。

#### ③ きのこと生産施設

輪島市、珠洲市、能登町において菌床及び原木のしいたけ生産施設に被害があり、2棟のハウスで菌床棚が倒壊するなどの被害が発生した。

## 4 水産業関係

### (1) 概要

被災した市町は6市町にわたり、195カ所、34億6302万円の被害となった。

被害箇所数、被害額共に輪島市、志賀町、七尾市の3市で全体の約9割を占めた。

### (2) 漁港、漁業用施設

#### ① 漁港施設

漁港施設の被害は、県下69漁港中、富来漁港をはじめとして34漁港、119カ所にのぼり、岸壁や物揚場などの沈下、亀裂、防波堤の沈下、傾斜、さらに船揚場の隆起、港内の泊地が隆起するなどの被害を受けた。

漁港の被害状況

区	分	漁港数	箇所数
県	管理漁港	6	41
市	町管理漁港	28	78
輪島市		8	32
七尾市		10	27
珠洲市		1	1
志賀町		2	7
穴水町		2	3
能登町		5	8
合	計	34	119

ア 富来漁港

岸壁・物揚場などの漁港施設や泊地・航路では、岩盤部及び砂地盤で隆起（約8cmから13cm）が発生した。

また、砂地盤の船揚場や臨港道路においては、沈下、亀裂が発生し、一部区域では液状化現象も見られた。

被災した漁港施設は防波堤266m、護岸10m、岸壁494m、物揚場443m、船揚場172m、臨港道路858mなどであり、特に岸壁、物揚場の被害が甚大であった。

イ 鹿磯漁港

震源地に最も近い漁港であり、地震により漁港区域全体にわたり約50cm程度の隆起が発生した。

被災した漁港施設の内訳は、防波堤の消波ブロックの沈下183m、岸壁基礎地盤の隆起、エプロン破損177m、物揚場基礎地盤隆起、エプロン破損93m、船揚場斜路コンクリートの破損60m、臨港道路舗装破損が53mであった。

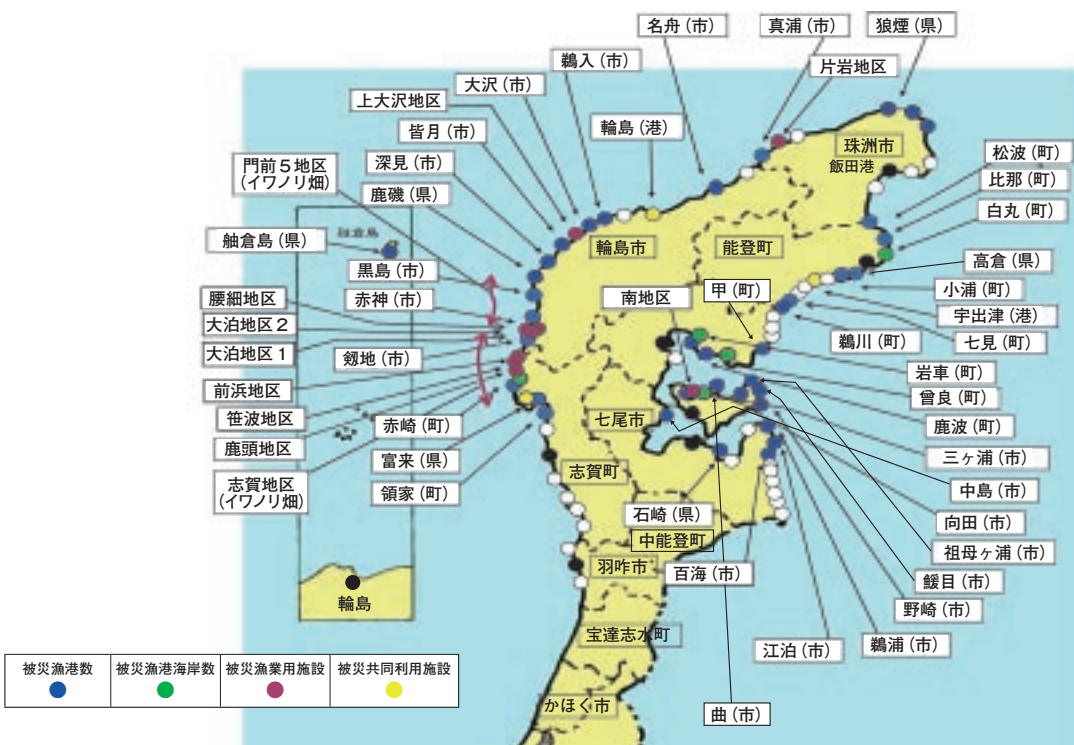


物揚場が隆起、亀裂が入った＝3月、鹿磯漁港

② 漁業用施設

漁業用施設及び船溜などの被害は、県下51地区中、珠洲市片岩地区をはじめとして15地区、26カ所で発生した。被害内容は、泊地・航路及びイワノリ畑の隆起や沈下、防波堤や物揚場などの亀裂、沈下、隆起などであった。

漁港・漁港海岸被害箇所図



市町管理漁業用施設の被害状況

市 町 名	箇所数	うちイワノリ畑
七 尾 市	1	—
輪 島 市	18	5 (1.4ha)
珠 洲 市	1	—
志 賀 町	6	1 (0.1ha)
合 計	26	6 (1.5ha)

特にイワノリ畑については、輪島市門前町鹿磯地区付近から志賀町風戸地区付近にわたり、海底岩礁が最大62cm隆起し、輪島市門前町深見地区付近では逆に24cmの沈下が確認された。このため、イワノリ畑3.2haのうち約1.5haが干出或いは水没し、漁場として機能しなくなる被害を受けた。



地震で隆起したイワノリ畑＝4月17日、輪島市門前町腰細

(3) 漁港海岸施設

漁港海岸施設では、県下53漁港海岸中、中島漁港海岸をはじめとして8漁港海岸、9カ所で、消波ブロックの沈下、護岸波返し<sup>かきかえ</sup>の亀裂などの被害があった。

市町管理漁港海岸関係施設の被害状況

市 町 名	漁港海岸数	箇所数
七 尾 市	2	3
志 賀 町	1	1
穴 水 町	4	4
能 登 町	1	1
合 計	8	9

(4) その他施設

石川県漁協の本所及び輪島、門前など10支所の事務所、荷捌き所、製氷施設、漁具倉庫など漁業用共同利用施設41カ所において、床の陥没や外壁の亀裂などが発生した。

共同利用施設の被害状況

市 町 名	箇所数
七 尾 市	1
輪 島 市	9
珠 洲 市	1
志 賀 町	29
能 登 町	1
合 計	41

3. 社会福祉施設、医療施設などの被害状況

1 概 要

社会福祉施設、医療施設などの被害は、218カ所、8億8027万円で、その内訳は、老人福祉施設・障害者施設・児童福祉施設関係が4億3556万円、医療施設関係が4億3973万円、保健衛生施設などが499万円であった。

主な被害内容は、施設壁面の亀裂の発生や水道等配管の破損、敷地の地盤沈下、ガラス破損などであった。

社会福祉施設などの被害概要

区分	箇所数	被害金額(千円)
社会福祉施設	148	435,555
老人福祉施設	57	261,602
障害者施設	17	21,528
児童福祉施設など	74	152,425
医療施設	66	439,726
病院	12	132,496
診療所など	54	307,230
保健衛生施設など	4	4,987
保健所	2	3,366
火葬場	2	1,621
合 計	218	880,268

2 社会福祉施設

(1) 老人福祉施設

被害は特別養護老人ホームをはじめ、各種施設に広範囲にわたり、57カ所で被害があった。被害内容は建物外壁のひび割れや、給排水管の破損、敷地駐車場のアスファルトの亀裂などが主であったが、一部施設では敷地の土砂が崩落するなど大きな被害があった。

## 老人福祉施設の被害状況

区 分	箇所数
養護老人ホーム	3
特別養護老人ホーム	17
介護老人保健施設	9
デイサービスセンター	11
グループホーム	13
ケアハウス	2
老人福祉センター	2
合 計	57



敷地の土砂が崩落した老人福祉施設

## (2) 障害者施設

障害者施設のうち、身体障害者施設が4カ所、知的障害者施設が9カ所など、合わせて17カ所で被害があった。被害内容は、建物壁面の亀裂や駐車場の沈下などであった。

## 障害者施設の被害状況

区 分	箇所数
身体障害者施設	4
知的障害者施設	9
精神障害者施設	1
その他	3
合 計	17

## (3) 児童福祉施設など

児童福祉施設などについては、児童館が7カ所、放課後児童クラブが8カ所、保育所が56カ所など、合わせて74カ所で被害があった。被害内容は、液状化による地面の陥没や段差の発生、建物の内壁や外壁の亀裂、給排水管の破損、窓ガラスの破損などであった。

## 児童福祉施設などの被害状況

区 分	箇所数
児童館	7
放課後児童クラブ	8
保育所	56
児童養護施設など	3
合 計	74

## 3 医療施設

県内の医療機関については、輪島市を中心に6市町で、県内の医療機関の約4%にあたる66カ所の医療機関で被害があった。施設の利用に大きな影響を及ぼす被害はほとんどなかった。

## 医療機関などの被害状況

区 分	箇所数
病院	12
診療所	22
歯科診療所	17
施術所	10
看護師等養成所など	5
合 計	66

## 4 保健衛生施設など

保健所の被害状況については、能登北部、能登中部の各保健福祉センターで給排水設備などの破損や検査機器の破損などがあったが、施設の利用に大きな影響を及ぼすものはなく、年内に復旧を終えた。

## 保健衛生施設などの被害状況

区 分	箇所数
保健所(保健福祉センター)	2
火葬場	2
合 計	4



## 4. 学校、文化財などの被害状況

### 1 学校

#### (1) 公立学校施設

県内の公立学校施設については、輪島市を中心に11市町で被害があった。また、被害額については県内の48の公立学校で7億2910万円となっている。

#### 公立学校の被害状況

区 分	学校数
小 学 校	22
中 学 校	12
高 校	13
特 別 支 援 学 校	1
合 計	48



半壊した穴水小学校体育館の屋根部分 = 3月25日

#### (2) 私立学校施設

県内の私立学校施設については、輪島市の高校1校、輪島市を含め2市1町の幼稚園6園の計7校(園)において、建物の外壁・内壁の亀裂などの被害が発生した。

被害額は、2771万円に上った。

### 2 文化財

文化財については、11市町で国・県・市町指定の建造物、彫刻、史跡など85件に被害があった。

#### 文化財の被害状況

区 分	件数
国 指 定 文 化 財	10
県 指 定 文 化 財	15
市 町 指 定 文 化 財	54
国 登 録 有 形 文 化 財	6
合 計	85



大きな被害のあった県指定文化財の角海家住宅 = 4月3日、輪島市門前町黒島町

### 3 その他

#### (1) 社会教育施設

地域の公民館や図書館など10市町68施設で、一部損壊などの被害が発生した。

#### (2) 社会体育施設

体育館や武道場など9市町46施設で被害が発生した。

#### (3) その他

輪島漆芸技術研修所においては建物の一部に亀裂や屋根瓦のずれが発生したほか、重油タンクの破損などの被害を受けた。

## 5. その他公共施設の被害状況

### 1 県の行政庁舎

#### (1) 中能登総合事務所

会議室棟の基礎柱が一部破損したほか、建物の内外壁にひび割れが発生するなど、114万円の被害を受けたが、平成20年2月末日までに復旧工事を完了した。

#### (2) 奥能登総合事務所

建物の内壁にひび割れが発生したほか、空調設備・照明器具が破損するなど150万円の被害を受けたが、10月末日までに復旧工事を完了した。

#### (3) 北部家畜保健衛生所

北部家畜保健衛生所では、敷地内道路や重油地下タンク周辺地面の陥没などの被害を、同能登駐在所では、建物外壁における多数のひび割れや内装ボードの破損などの被害を受け、被害金額は両施設で合わせて850万円に及んだ。

復旧工事は、平成20年2月までに終了した。

## 2 石川県輪島漆芸美術館及び石川県七尾美術館

### (1) 石川県輪島漆芸美術館

玄関アプローチタイルの破損やアスファルト舗装隆起、下水道隆起による排水異常のほか、館内の展示ガラスケースにひび割れが発生し、677万円の被害を受けた。復旧工事に着手し、平成20年3月中旬に完了した。

### (2) 石川県七尾美術館

合併浄化槽の隆起などによる配管破損が発生し、194万円の被害を受けた。4月中旬に、復旧工事に着手し、5月中旬に完了した。

## 3 七尾産業技術専門校

校舎などの外壁・内壁の亀裂、体育館の床沈下、合併処理槽の損壊及び給水管破裂などの被害が生じた。さらに、敷地内の各所に陥没が生じ側溝などが損壊し、被害額は6096万円であった。復旧工事は、平成20年3月までに完了した。

## 4 廃棄物処理施設

廃棄物処理施設の被害額は、1市4一部事務組合の9施設で総額2億8446万円であった。市や組合は、応急復旧の処置を講ずることにより施設稼働の確保を図りつつ、平成20年2月には、全ての施設の本格復旧工事を終えた。

### 廃棄物処理施設の被害状況

市・組合名	被災施設	被害状況	被害金額 (千円)
輪島市	輪島クリーンセンター焼却処理施設(ごみ焼却施設)	焼却設備破損	8,258
羽咋郡市広域圏事務組合	リサイクルセンター(ごみ資源化施設)	建屋壁崩落	7,808
七尾鹿島広域圏事務組合	ななかりサイクルセンター(RDF製造施設)	処理設備破損	5,371
	中央埋立場(埋立処分地施設)	構内道路、計量設備破損	10,292
	クリーンセンター(し尿処理施設)	処理設備、構内道路破損	35,695
輪島市穴水町環境衛生施設組合	クリーンセンター(ごみ焼却施設)	焼却設備、煙突破損	203,449
	山中処分場ストックヤード(ごみ資源化施設)	保管設備破損	1,549
奥能登クリーン組合	奥能登クリーンセンター(RDF製造施設)	建屋壁崩落、処理設備破損	5,738
	奥能登クリーンセンター(ごみ資源化施設)	建屋壁崩落	6,297
合 計			284,457

## 5 自然公園施設

自然公園では、輪島市赤崎町地内の輪島エコロジーキャンプ場で遊歩道の一部(L=17m)が崩壊し、被害額は73万円であった。

また、志賀町富来牛下地内の巖門園地では、転落防止柵の一部(L=3.0m)が破損し、被害額は22万円であった。

## 6 金沢競馬場

金沢競馬場においては被害が無く、当初計画どおり、4月1日、平成19年度金沢競馬を開幕した。

## 7 警察施設など

警察署49施設で、屋根瓦の崩落・ずれ及び施設外溝(ブロック塀、舗装など)並びに敷地の隆起・陥没などが発生するとともに、交通安全施設36カ所(交通信号機6カ所、道路標識30カ所)で信号柱や基礎部分が破損するなど、2079万円の被害を受けたが、9月末までに復旧工事を完了した。

### 警察施設の被害状況

区 分	施設数
警察本部分庁舎	2
警察署	7
交 番	3
駐 在 所	29
職員宿舎など	8
合 計	49

## 第4節 ライフラインの被害

### 1. 電力施設の被害状況

#### 1 停電の状況

地震発生直後、石川県内の10市町で最大約11万戸の停電が発生した。

#### 2 発電施設の被害

志賀原子力発電所については、地震発生直後から施設の巡視・点検を実施した結果、安全上問題となる被害はなかった。

七尾大田火力発電所については、2号機が自動停止した。定期点検のため停止していた1号機とともに設備点検を行い、1号機が3月29日、2号機が3月31日に発電を再開した。

水力発電所については、地震発生直後に全施設の緊急点検を実施したが、被害はなかった。

## 2. 上水道、下水道の被害状況

### 1 上水道

#### (1) 概要

上水道施設の被害は9市町にわたり18水道事業（用水供給1事業、上水道12事業、簡易水道など5事業）に及んでおり、このうち7市町において1万3280戸（後日、1町から10戸の断水報告があり、累計断水最大数は1万3290戸と公表）が断水した。なお、被害金額は2億1585万円に上った。

#### (2) 被害の内容

上水道施設の被害は、管路の破断が大部分を占めている。中でも、穴水町上水道宇留地浄水場系では、導水管である鉄筋コンクリート管（口径250mm、延長約2,000m）が、多数の箇所破断し、取水不能な事態となったため、応急措置として、取水位置を暫定的に変更した。



穴水町上水道宇留地浄水場系導水管の破損

#### 上水道施設の被害状況

（3月25日20時30分現在）

市町名	被害水道事業名	被害発生状況	給水制限状況 (断水又は減圧給水等)	断水戸数	備考
	石川県水道用水供給事業	送水管数カ所漏水（七尾市石崎地内）	復旧工事のため能登島供給点送水停止		
七尾市	七尾上水道	送配水管数カ所破断（岩屋～和倉系）	石崎地区断水	300	
	田鶴浜上水道	配水管数カ所漏水			
	中島上水道	配水管数カ所破断	中島地区で断水	900	
	能登島簡易水道	配水管数カ所破断（向田地内）	向田地区等で断水	300	
輪島市	輪島市上水道（旧輪島）	長沢配水池損壊、配水管数カ所破断	配水池水量減少により断水	3,000	
	輪島市上水道（旧門前）	剣地配水池損壊、配水管数カ所破断（給水区域全域）	全区域で断水	2,500	
珠洲市	珠洲市上水道	配水管14カ所漏水			
羽咋市	羽咋市上水道	配水管3カ所漏水			
津幡町	津幡町上水道	配水管1カ所破断		20	夕方までに全20戸復旧
	常德飲料水供給施設	水源（湧水）の濁水		10	3月30日に断水報告
志賀町	志賀上水道	配水管約10カ所破断	一部地区で断水	700	
	富来上水道	酒見、西海浄水場水源（湧水、井戸）の濁水、配水管数カ所破断	取水停止等により断水	2,900	
	熊野簡易水道	浄水場の一部損壊、配水管数カ所漏水			
	鵜野屋飲料水供給施設	水源（湧水）の濁水			
中能登町	中能登町上水道	配水管3カ所破断	一部地区で断水	10	夕方までに全10戸復旧
穴水町	穴水町上水道	宇留地浄水場系導水管数カ所破断、配水管数カ所破断	宇留地浄水場取水不能による断水	550	
能登町	能登町上水道	配水管数カ所破断（旧能都町地内）	旧能都町地内で一部断水	1,700	夕方までに1200戸復旧
	柳田簡易水道	配水管数カ所破断	一部地域で断水	400	夕方までに380戸復旧
合計	9市町 用水供給1、上水道12、簡易水道等5			13,290	

一方、構造物や設備については、輪島市上水道において2カ所のステンレスパネル配水池が大きく破損したほか、穴水町や能登町の水道でも、浄水場施設の一部にコンクリートの亀裂や設備の破損がみられた。

## 2 企業局送水関係施設

県企業局が供給している水道用水の送水施設では、地震発生直後に七尾市石崎町地内の能登島大橋旧料金所付近で、送水管の継ぎ手が外れる漏水事故が発生した。このため、能登島地区への送水を停止し、一時、約250世帯、640人に給水制限などの影響が出たが、直ちに復旧工事に着手し、翌日朝に送水を再開した。

この他、小さな漏水や施設被害が14カ所で発生したが、早期に復旧した。

また、被災市町への応急給水のため、津幡調整池からいつでも給水できる体制を地震発生から15日間とった。

被害額は256万円であった。

## 3 下水道

### (1) 概要

下水道などの生活排水処理施設の被害は6市町にわたり、28処理区（公共下水道11処理区、農業集落排水15処理区、漁業集落排水2処理区）に及んだ。被害内容としては、マンホールの浮上が166カ所、管路の破損総延長が21,893m、処理場の施設・設備などの被害が6カ所であった。なお、被害金額は24億7671万円に上った。

#### 下水道施設の被害状況

	市町名	箇所数 (処理区)	管路		処理場 (箇所)	被害金額 (千円)
			管路(m)	マンホール(箇所)		
公共 下水道	七尾市	4	560	3	1	59,014
	輪島市	3	13,891	141	4	1,790,825
	珠洲市	1	0	0	1	817
	志賀町	1	82	0	0	8,253
	中能登町	1	44	0	0	6,076
	穴水町	1	142	5	0	16,703
	合計	11	14,719	149	6	1,881,688

	市町名	箇所数 (処理区)	管路		処理場 (箇所)	被害金額 (千円)
			管路(m)	マンホール(箇所)		
農業 集落 排水	七尾市	3	366	0	0	38,489
	輪島市	3	2,112	0	0	179,029
	珠洲市	1	69	0	0	5,672
	志賀町	8	4,327	0	0	352,377
	合計	15	6,874	0	0	575,567

	市町名	箇所数 (処理区)	管路		処理場 (箇所)	被害金額 (千円)
			管路(m)	マンホール(箇所)		
漁業 集落 排水	輪島市	2	300	17	0	19,456
	合計	2	300	17	0	19,456



地震の影響で、約90cm以上も隆起したマンホール＝輪島市門前町(同市提供)

### (2) 管路の被害

液状化によるマンホールの隆起、埋め戻し部分の沈下が多く見られた。また、地中に埋設されている管内部をTVカメラなどで調査した結果、管の隆起・沈下（鉛直方向の蛇行）が多く確認され、部分的に管継ぎ手の破損なども確認された。そのため、流下機能が損なわれ、マンホール内に汚水が滞水していた。

### (3) 処理場、ポンプ場の被害

液状化により場内が沈下し舗装や側溝などが被害を受け、処理施設の一部も機器破損などの損傷を受けたが、汚水の処理に支障となる被害はなかった。

## 3. 電話の被害状況

### 1 電話の輻輳

現地への安否確認などの電話通信量の増加により、一部で輻輳が発生したこと、さらに非常時における電気通信事業者の通信規制を実施したことにより、発災直後から5時間程度、固定電話や携帯電話がつながりにくい状況が発生した。

## 2 固定電話

地震によるNTT通信設備への影響は輪島市を中心に電柱倒壊、通信ケーブル断線などが発生し、地震発生当日において260回線の電話が不通となった。通信設備の被害状況は次のとおり。

### <通信設備被災状況>

- ・電柱の倒壊、傾斜など 235本
- ・中継光ケーブル、加入メタルケーブルの切断など 65カ所
- ・電話引込線の断線、垂下りなど 435件
- ・通信用マンホール等地下設備の一部損傷 155カ所
- ・NTT建物(局舎)外壁の一部損傷など 24棟

### <NTTへの問い合わせ受付状況(113・116センター)>

	3月25日	3月26日	3月27日	3月28日	3月29日	3月30日	6日間の計
受付件数(件)	10,570	2,234	1,412	1,038	815	1,009	17,078

## 3 携帯電話

ソフトバンクモバイル株式会社では、3月25日20時頃から、七尾市中島町の土川基地局が停波したが、3月30日22時50分までに復旧した。

なお、他の携帯電話各社の電話基地局では、被害は発生しなかった。



避難所で携帯電話を手にした女性は、家族との会話に笑顔を弾けさせた＝3月27日、輪島市門前町走出

## 4. LPガス、都市ガスなどの被害状況

### 1 LPガス、都市ガスなど

LPガス関係の被害件数は304件であり、その内訳は、ガス漏れ83件、容器転倒41件、家屋倒壊による供給不能は180件であった。

なお、3月30日には個人住宅全戸で、4月6日には温泉旅館・公共施設で復旧が完了した。

マイコンメーターによるガスの遮断などにより、1件の火災発生もなかった(5強以上の震度を観測した能登4支部のLPガス消費者戸数は約7万7千戸)。

### LPガス関係の市町別被災状況

市町名	件数	被災状況内訳		
		ガス漏れ	容器転倒	家屋倒壊により供給不能
七尾市	29	18	5	6
輪島市	189	32	28	129
野々市町	1	1		
志賀町	12	3	1	8
中能登町	3	1	1	1
穴水町	65	25	5	35
能登町	5	3	1	1
合計	304	83	41	180

都市ガス関係については、地震による被害はなかった。

簡易ガス関係については、地震による被害は3団地149戸であった。なお4月10日には復旧が完了した。

### 簡易ガス関係の市町別被害状況

所在地	供給支障戸数	主な被害内容	臨時供給体制	導管供給再開月日
七尾市	35	埋設導管のみならずPS(パイプステーション)の内管破断によりガス漏えい	小型ボンベ、カセットコンロ	4月10日
志賀町	53	埋設導管の損傷によりガス漏えい	ボンベ	3月30日
宝達志水町	61	埋設導管の損傷によりガス漏えい	ボンベ	4月3日
合計	149			

## 2 金沢港石油基地

地震により、No. 5タンク内のガソリンが液面動揺し、少量のガソリンがにじみ出たため、No. 5タンクからNo. 2タンクへシフトした。No. 5タンク本体に破損はなかった。

### 3 七尾国家石油ガス備蓄基地、液化ガスターミナル株式会社七尾製造所

舗装部分の亀裂、埋め戻し土部分の沈下、架橋類の変形など、軽微な異状は見られたもの

の、国家備蓄基地・民間出荷基地とも、設備に大きな被害はなかった。

## 第5節 公共交通機関の被害

### 1. 能登空港の被害状況

能登空港では、進入灯の灯器の脱落や滑走路・誘導路などの舗装の広範囲にわたるひび割れ、段差、目地の開きなど(被害総額1億6423万円)の被害が発生した。この被害により、航空機の離着陸に支障をきたすおそれがあることから、10時13分より滑走路を閉鎖し、25日の能登・羽田間の定期便は全て欠航となった。

また、空港ターミナルビルでは、一部、壁面の剥離やひび割れが生じたが、大きな被害はなく、来館者、従業員にけが人などはなかった。

被災地への陸上交通が寸断される中で、ヘリコプターによる救援活動の要請に応えるため、被害がなかったエプロン周辺に臨時の駐機場25カ所を設定し、10時51分にはヘリコプターに限定した運用を再開し、災害救助・調査や報道活動に活用された。

なお、25日の運用時間終了後、夜間のうちに応急復旧を行い、26日から定期便の運航も再開された。

その後、政府防災関係者やボランティア受入れの交通手段として、空港の機能が十分に発揮され、能登の防災拠点としての役割を果たした。

### 2. JRの被害状況

#### 1 運行への影響

##### (1) 北陸本線

特急列車72本と普通列車115本の合計187本が運転休止となったほか、特急列車33本と普通列車58本の合計91本に遅れが発生した。25日20時20分に全て運転再開した。

##### (2) 七尾線

特急列車6本と普通列車21本の合計27本が運転休止となった。最終列車まで全線運転休止とし、バスによる代行輸送を実施した。26日13

時8分に七尾～和倉温泉駅間を運転再開し、全面復旧した。



前後300mにわたり赤浦湯側に線路が移動した七尾・和倉温泉間松百川橋りょう=平成19年3月

#### 2 施設の被害

七尾線において、次の被害が発生した。

- ・敷浪～南羽咋間、千路～金丸間の線路陥没
- ・七尾～和倉温泉間の線路通り狂いの発生
  - 赤浦湯付近の松百川橋りょう前後が300mにわたり最大30cm湯側に移動した。
  - 復旧作業は、3月25日夜に軌陸車(重機械)を線路内に入れて線路復旧を行い、その後、橋りょう検査を行い開通した。
- ・和倉温泉駅構内ホーム陥没
  - 給排水管破損、ガス設備破損・駅本屋への階段沈下破損が多数見られた。
  - また、旅客スロープの沈下破損なども見られた。
- ・電気設備に対する被害
  - 列車運行に最も重要な軌道回路を扱う各駅設置のリレー装置一部傾斜、和倉温泉駅場内信号機傾斜が発生した。全軌道回路確認と全信号電力設備確認及びATS機能確認を行った。

### 3. のと鉄道の被害状況

地震発生時刻の9時42分頃は、下り列車127Dが西岸駅を発車した直後であった。地震による揺れを感知したため、直ちに列車を停止させた。乗客、乗員ともに負傷者はなく、乗客についてはタクシーで代行輸送を行った。

のと鉄道では11時から対策本部を立ち上げ、直ちに和倉温泉駅から穴水駅間の線路及び構造

物の被害状況の点検を行った。

その結果、線路の横揺れや高低狂いなどの不良箇所が74カ所判明した。復旧工事期間が1週間程度と見込まれ、余震も続いていたため、復旧工事の開始を26日朝からとして、復旧までの間、乗客のバス代行輸送を行った(バス代行輸送本数1日上下8本)。

26日朝から3班(工務区班1班、外注班2班)で和倉温泉駅から能登中島駅間の復旧作業を開始した。

29日20時25分に復旧作業及び試運転などを完了した。30日からは和倉温泉駅と穴水駅間の速度を45km/hに規制しながら、運転を再開した。

4月7日からは速度規制を解除し、通常運行を再開した。

#### のと鉄道の被害状況

区分	被害金額 (千円)	備考
軌道関係	26,006	軌道、道床(和倉温泉駅～穴水駅間)
電気関係	5,495	信号設備、電力設備、通信設備
駅舎、ホーム	4,823	穴水駅舎、西岸駅舎
その他	3,475	本社建物
合計	39,799	

## 4. 路線バスなどの被害状況

### 1 概要

地震による高速自動車道、国道、県道などの被害により、高速バス、一般路線バスの運行に影響が生じた。

また、能登有料道路では道路崩落などの影響により、別所岳サービスエリアに観光バス4台が孤立したが、乗客乗員は警察・消防により救出された。

### 2 高速バスへの影響

3月25日、北陸自動車道金沢西ICから富山ICまでの区間通行止めにともない金沢～富山線の高速バスが運休となった。

同日11時15分の区間通行止め解除により、13時に運行を再開した。

### 3 一般路線バスへの影響

#### (1) 3月25日

多数の路線で道路損傷により運休、区間運休、迂回運行が発生した。

#### (2) 3月26日

- ・運休 4路線 西保線、皆月線、空熊線、唐川線(能登中央バス)
- ・区間運休 5路線 町野線、飯田線(奥能登観光開発) 輪島特急、久川線、小山線(能登中央バス)
- ・迂回運行 4路線 大谷特急、珠洲特急、珠洲若山特急、宇出津真脇特急(奥能登観光開発)

#### (3) 3月27日

- ・運休 2路線 皆月線(能登中央バス) 曲線(能登島交通)
- ・区間運休 10路線 町野線、飯田線、大谷A線、大谷B線(奥能登観光開発) 輪島特急、西保線、久川線、小山線(能登中央バス) 門前特急急行、外浦線(能登西部バス)
- ・迂回運行 4路線 大谷特急、珠洲特急、珠洲若山特急、宇出津真脇特急(奥能登観光開発)

#### (4) 3月28日以降

3月28日には運休は全て解消された。一部区間の道路の通行禁止などによる区間運休、迂回運行は継続された。

能登有料道路供用再開(4月27日)、国道249号線曾々木口～垂水間の通行禁止解除(7月7日)により、7月7日には全ての路線バスが通常運行を再開した。

## 5. 海上交通の被害状況

### 1 海上保安庁の対応

海上保安庁では、航行警報などによる船舶などへの津波情報の提供を迅速に実施するとともに、巡視船艇・航空機を出動させ、港湾や沿岸部における被害状況調査などを実施した。

## 2 定期船の運行への影響

3月25日輪島港9時00分発舢倉島10時30分着予定の「ニューへぐら」(総トン数102トン、乗客3人、乗組員4人、計7人乗船)は、地震による舢倉島港の潮位低下により一時沖合に待機後、11時45分に舢倉島港に無事入港・着岸した。乗客乗員ともに負傷者はいなかった。

## 3 灯台の被害

輪島市の猿山岬灯台がレンズ回転モーター軸の損傷により消灯した。6月20日には復旧した。

## 第6節 その他の被害

### 1. 観光関係の被害状況

#### 1 観光施設などの被害状況

志賀町以北の7市町の55の観光施設などで被害が報告された。このうち、営業(見学)休止などの措置をとった施設は33施設であったが、平成21年1月31日現在、31施設は営業を再開している。



和倉温泉の旅館では敷き詰められたブロックが割れた＝3月25日

## 2 宿泊施設の被害状況

### (1) 温泉旅館、ホテル

和倉温泉では、地震発生直後に29軒の旅館、ホテルのうち、20軒が休業を余儀なくされる被害を受け、1軒は廃業したが、19軒が営業を再開した。

また、輪島温泉郷では、地震発生直後、16軒中9軒が休業したが、4月25日には、全ての旅館、ホテルが営業を再開した。

### (2) 公営宿舎、民宿

公営宿舎では、志賀町以北の22軒中20軒に被害があった。平成21年1月31日現在、全施設が営業しており、民宿では、輪島市の33軒に被害があったが、平成21年1月31日現在、全施設が営業を再開している。

### 2. 商工業関係の被害状況

#### 1 商工業関係の被害状況

激甚災害の指定のために、国が県や地元市町の調査をもとに推計した中小企業の被害額は399億円であった。



のと鉄道穴水駅近くの商店は、3月25日の本震で前面に大きく傾き、繰り返す余震で後日、1階部分がつぶれた＝穴水町大町

地場産業については、能登の地場産業の代表格である漆器産業、酒造業、また、地域住民の日常生活を支える重要なコミュニティーである商店街が特に甚大な被害を受けた。

被害状況としては、輪島市の輪島漆器関係事業者約630件のうち、78件が半壊以上、輪島の酒造業については5件全てが全半壊となった。

また、輪島市の4商店街(総持寺通り、新橋まちなみ、本町、まんなか)では、163件中51件、穴水町の3商店街(大町、中央、川島東)では、



179件中69件が半壊以上の被害を受けた。

なお、本県の誘致企業については、能登地域の一部企業において、工場内外の破損、亀裂、機械設備の移動など、建物や生産設備の損傷により一時的な操業中断はあったものの、地震発生から約10日経過した4月4日には全ての誘致企業が、ほぼ通常通りの操業に戻った。

## 2 雇用への影響

### (1) 災害離職者の求職申込み及び就職状況

石川労働局では、地震の影響で事業所が一時的に閉鎖したために、「現場復帰を前提として一時的に離職した者」に対し、雇用保険を支給する特定措置を実施し、これに必要な災害離職者票を105人に交付した。

その結果、平成20年3月までに現場復帰した者が67人、他社へ就職した者が21人となり、残る17人は求職の取消し(ハローワークでの求職活動の取りやめ)などを行った。

災害離職者の就職状況 (平成20年3月31日現在)

就職状況など	人数(人)
職場復帰者	67
他社へ就職	21
求職取消し	12
県外への転居	1
未復帰・未就職者	2
手続きせず	2
合計	105

### (2) 一般離職者等の求職申込み及び就職状況

地震の影響で、(1)のほかに解雇・倒産などにより離職した者などに新たにハローワークに求職の申込みを行った者が66人発生した。

このうち、平成20年3月までに再就職した者が34人、求職登録を取消した者が30人、未就職者が2人となった。

求職状況 (平成20年3月31日現在)

求職申込み理由など	人数(人)
事業主都合による解雇	49
休業により先行き不安で退職	1
内定取消し	1
自営業継続不可	3
自宅などの倒壊の影響により新たに求職	3
在職中も休業などにより先行き不安	9
合計	66

## 3. 農作物などの被害状況

農作物については、七尾市でハウス内のいちご棚転倒による果実損傷などはあったものの、被害額は37万円と比較的軽微であった。

これ以外の被害報告はなく、3月下旬の農閑期であったことも影響し、全体として被害は非常に少なかったといえる。

また、林産物、水産物については、被害は報告されていない。

## 4. その他の被害状況

### 1 郵政サービスへの影響

#### (1) 窓口業務

石川県内の46郵便局において、屋根瓦のずれ、外壁のひび割れなど被害があったものの、窓口業務、業務運行に支障はなく、翌日からすべての郵便局において通常どおり業務を行った。

#### (2) 郵便の業務運行

道路遮断、家屋倒壊などのため郵便物の配達や収集ができない地区があったが、27日以降道路復旧状況、避難先を確認の上、速やかに配達するなど、万全の体制で集配業務を行った。

また、27日から4月14日までの19日間、北陸支社郵便事業部を中心とした支社職員(延べ114人)を輪島局区内及び門前局区内に派遣し、郵便物の配達先などの確認を行い、配達業務を行った。

#### (3) 黒島郵便局(輪島市門前町黒島地区)の窓口業務停止

黒島局舎裏山が崖崩れをおこす恐れがあったため、4月2日以降、当分の間、窓口業務を一時停止し、黒島郵便局付近の空地へスペースポスト号<sup>\*</sup>及び移動郵便車を出動させ、窓口業務の代替業務としてサービスを提供した。

4月下旬、裏山の応急処置が終了したことから、5月1日に本局での業務を再開した。

<sup>\*</sup>スペースポスト号とは

地震、水害などの非常災害発生時に郵便局が被災した時、ライフラインである郵便・貯金・保険のサービスを確保するため、衛星通信を利用して、オンラインサービスを提供する車両。



仮設の黒島郵便局（左）とスペースポスト号（右）

## 2 石川県議会議員選挙関連施設

石川県議会議員選挙については、「地方公共団体の議会の議員及び長の選挙期日等の臨時特例に関する法律」に基づき、全国的に、3月30日を告示日、4月8日を選挙期日に統一して執行されたものであるが、告示日の5日前に発生した能登半島地震により選挙関連施設においても被害が生じた。

### (1) 被害状況（3月26日時点）

#### ① ポスター掲示場

設置箇所数 …………… 3,725カ所  
うち被害箇所数 …………… 18カ所  
うち再設置不能箇所数 …………… 8カ所  
(すべて旧門前町地内)

#### ② 期日前投票所予定施設

期日前投票所数 …………… 52カ所  
うち被害箇所数 …………… 1カ所  
(加賀市。窓ガラス破損被害)  
うち避難場所としての利用箇所数 なし

#### ③ 投票所予定施設

投票所総数 …………… 544カ所  
うち被害箇所数 …………… 11カ所  
うち避難場所としての利用箇所数 15カ所  
(七尾市1、輪島市12、志賀町2)

#### ④ 開票所予定施設

開票所総数 …………… 21カ所  
うち被害箇所数 …………… なし  
うち避難場所としての利用箇所数 1カ所  
(門前会館)

### (2) 対応

- ① ポスター掲示場の再設置が不能な箇所については、再設置しなかった。
- ② 施設の被害程度が大きい、又は避難場所として利用している投・開票所予定施設については、他施設への変更、あるいは同一施設内での場所の確保を行った。

### ア 七尾市

- (ア) 投票所の変更（施設被害程度大のため）  
七尾市立田鶴浜保育園→  
七尾市健康福祉プラザさつき苑  
七尾市ふれあい交流館金ヶ崎→  
大津集会所

### イ 輪島市

- (ア) 投票区の合区  
第34投票区（門前町深見、門前町六郎木）を隣接する第35投票区（門前町道下、門前町鹿磯、門前町勝田、門前町大生）に合区した。
- (イ) 投票所の変更（避難場所として使用のため）  
諸岡公民館 → 門前西小学校
- (ウ) 開票所の変更（避難場所として使用のため）  
門前会館 → 門前中学校体育館



地震で投票所が変更されたため、小学校の食堂で投票する住民＝4月8日、輪島市門前町の門前西小学校

### (3) 選挙事務応援職員の派遣

投・開票事務を支援するため、輪島市からの要請に基づき、県のあっせんにより珠洲市（無投票）から職員を派遣した。

#### ① 派遣日時

4月8日（県議選の投・開票日）

#### ② 派遣人員

20人

#### ③ 事務の内容

投票所事務支援（選挙人の案内、被災者・車いす等の介添など）及び開票所の設営など

## 第7節 地震被害の特色

### 1 能登半島地震における被害の特色

能登半島地震は、七尾市、輪島市、穴水町で6強の震度を観測し、石川県内での全壊住家数が686棟であるなど、大規模な地震であったにもかかわらず、人的被害は、死者1人、負傷者338人と同程度の規模の地震に比べ小さかった。

### 2 被害が少なかった理由

被害が少なかった理由として、次の3つの観点から理由を挙げるができる。

#### (1) 日時と天候等による理由

- ① 季節が春であったことや暖冬の影響などにより暖房器具の使用が少なかったこと、さらに、発災時間が9時42分頃で朝食のための火を使った調理時間を過ぎていたことなどから、火災の発生がなく、被害が拡大しなかったこと。
- ② 春休み期間中であり、就学生徒などが学校に不在であったこと。
- ③ 日曜日のため、多くの就労者は休日であったことから、事業活動は平日より少なく、交通量も減少していたこと。
- ④ 夜間ではなく明るい時間帯の災害であったので、身の回りの情報が把握でき、危険回避、避難などをスムーズに行うことができたこと。
- ⑤ 天候が曇りであったこと、地域的に早起きの人が多いことから、高齢者は農作業などで外出していたと考えられ、倒壊家屋による被害を免れることができたこと。
- ⑥ 震度は6強にとどまり、壊滅的な被害となる震度7ではなかったこと。

#### (2) 地域の特殊性による理由

- ① 過疎化・高齢化が進み人口が少なく、住家が疎らな中山間地域であったこと。
- ② 能登北部は丘陵地が多く、揺れを増幅するような軟弱な地盤ではなかったこと。
- ③ 時間をかけて築き上げたコミュニティが、「共助」体制を形成しており、地域人員の確認(行方不明者がなかった)、迅速な救助救出が実施されたこと。

#### (3) 防災関係機関などの取り組みによる理由

- ① 県の現地災害対策本部を輪島市の庁舎内に設置(移設)し、被災市町や国との情報の共有化を図ったこと。
- ② 避難所における健康管理を徹底したことなどにより、避難所での二次被害(関連死)を未然に防ぐことができたこと。
- ③ 能登有料道路の早期復旧など公共インフラ、ライフラインの早期復旧が図られたこと。
- ④ ボランティアなどによる救援活動が迅速に行われたこと。



避難所を巡回し住民の健康相談に乗る医療チーム＝3月26日、輪島市の諸岡公民館

#### 他の地震被害との比較

(平成21年1月13日現在)

区分	死者(人)	負傷者(人)	全壊(棟)	半壊(棟)	一部損壊(棟)	震度、マグニチュード、震源の深さ
阪神・淡路大震災(H7.1.17)	6,434	43,792	104,906	144,274	390,506	震度7 M7.3 16km
鳥取県西部地震(H12.10.6)	0	182	435	3,101	18,544	震度6強 M7.3 11km
新潟県中越地震(H16.10.23)	67	4,805	3,175	13,810	105,573	震度7 M6.8 13km
福岡県西方沖地震(H17.3.20)	1	1,186	143	352	9,190	震度6弱 M7.0 9km
能登半島地震(H19.3.25)	1	356	686	1,740	26,958	震度6強 M6.9 11km
新潟県中越沖地震(H19.7.16)	15	2,346	1,331	5,704	36,565	震度6強 M6.8 17km
岩手・宮城内陸地震(H20.6.14)	13	451	30	143	2,380	震度6強 M7.2 8km

注) 周辺他府県の被害を含む